Osaka University Knowledge Archive

Title	平成8年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 1997, 24, p. 44-45
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23950
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

平成８年度事業報告

㈶大阪癌研究会

１．一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から45名の応募者があった。

一般学術研究助成選衡委員会（委員長　濱岡利之大阪大学医学部教授他４委員で構成）で慎重に検討され，理事会で決定された助成対象者は下記のとおり12名であった。

２．がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌23号を刊行し配布した。また，癌の知識の普及活動にあらゆる面から鋭意努力した。

平成８年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏　名	所属機関	研究テーマ
南　康　博	神戸大学医学部	血液・免疫系細胞のストレス応答，細胞死の過程における非受容体型チロシンキナーゼの機能解析
吉田幸一	札幌医科大学がん研究所	転写因子EIAFの発現とがんの浸潤・転移，予後との関連
三宅健介	佐賀医科大学	マウスB細胞表面分子RP105のシグナル伝達機構の解析
高　野　徹	大阪大学医学部臨床検査診断学	甲状腺乳頭癌特異的遺伝子TP-2による甲状腺癌の遺伝子診断法の確率
吉川秀樹	大阪府立成人病センター整形外科	骨形成因子（BMP）による骨軟部肉腫の鑑別診断及び治療法の開発
渋　谷　彰	岡山大学医学部寄生虫学講座	細胞傷害性リンパ球に新しく見いだされた接着分子DNAM-1のシグナル伝達機構の解析
吉開泰信	名古屋大学医学部病態制御研究施設	IL-15による新しい癌免疫療法の開発のための基礎的研究
藤原康弘	広島大学医学部附属病院総合診療部	臨床分子薬理遺伝学による抗癌剤の効果・副作用予測システムの開発

氏　名	所属機関	研究テーマ
田中誠司	大阪大学 微生物病研究所	真核細胞の細胞周期を制御するカイネースNIKIの解析
前原喜彦	九州大学 医学部	消化器癌における抗癌剤感受性を決定する遺伝子的因子の同定
小川誠司	東京大学 医学部附属病院 第三内科	染色体6P22領域に存在する新規癌抑制遺伝子の同定とクローニング
石川秀樹	大阪府立成人病 センター研究所	食物繊維投与による大腸がん高危険群に対する発癌予防研究 —腸管洗浄中CEA濃度を代理指標とした検討—